

【題材名】：光とかげのハーモニー（つくりたいものをつくる）

【題材目標】

光と影の世界を表すことに関心を持ち、意欲的に表現に取り組む。

造形への関心・意欲・態度

自然物や人工物の影の美しさを感じ取り、表したい光と影の世界の想像を膨らませ、全体の形や色、表し方を考えたり試したりして、見通しを持つ。

発想や構想の能力

表したい光と影の世界に合わせて、自然物や人工物の特性や組み合わせの感じを生かして、自分だけの光と影の世界を工夫して表す。

創造的な技能

自分や仲間の作品に関心を持ち、発想や表現方法のよさを見つけ、造形作品に親しむ。

鑑賞の能力

【題材の評価規準】

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
自然物や人工物の影に関心を持ち、材料のよさや組み合わせを生かして光と影の世界を表すことを楽しもうとする。	明かりを照らすことによってできる自然物や人工物の影の美しさを感じ、表したい光と影の世界を想像し、全体の形や色、表し方を考えながら試したり構想したりする。	自分が想像する光と影の世界に合わせて、自然物や人工物のよさやそれらの組み合わせの感じを生かして自分なりの光と影の世界を表す。	仲間の作品のよさや美しさ、表し方や感じの違いなど自分と仲間の共通点や相違点がわかり、自分の作品に生かしたりアドバイスしたりする。

【題材指導計画】全10時間

時	ねらい	学習活動	評価規準	子どものつまずきに対する主な指導・援助
1	明かりの作品のよさや美しさに気づき、自分たちが作るオリジナルの明かりで、のぐるみ広場をきれいに飾ろうとする意識を持つ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">あかり作品のよさを見つけよう。</div> あかりの作品を鑑賞して思ったことを発表したり書いたりする。 明かりをつけたことによってできる影の美しさを感じ、明かりの作品をつくって飾りたい場所を考える。 学校のどこをライトアップしたいか考える。	<u>鑑賞の能力</u> 形や色、明るさなどの視点で作品を見て、その美しさに気づき、作品づくりへの憧れを持つ。	<u>つまずきの様相</u> よさや美しさに気づけない <u>評価</u> 発言・プリント <u>指導・援助</u> 見る視点(色・形・明るさ)などを示して考えさせる。
2	枝や葉っぱなどの自然物、セロファンやペットボトルなどの人工物を用意し、それらに光を当てると、どんな影ができるかを試し、地面や床、水に映る自然物、人工物の影の美しさを味わう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">かげ遊びをしよう。</div> 自然物(枝、木の実、葉っぱ)や人工物(セロファン、ペットボトル、下じき)に太陽の光や電気の光を当て、どのような影ができるかを楽しむ。 和紙に光を当てるとどのような影ができるかを試してみる。 ・ 無色と有色での感じの違い ・ まっすぐとくしゃくしゃにしたものの感じの違い	<u>発想・構想の能力</u> 光を当てることによってできる自然物や人工物の影の美しさを発見し、物を変えたり場所を変えたりしながら影のでき方をいろいろと試してみる。	<u>つまずきの様相</u> 同じ物で影をつくらせている。 同じ場所で試している。 <u>評価</u> 観察 <u>指導・援助</u> 物や場所を変えて試すように声かけをする。

3 ・ 4	のこぎりやグルーガン、針金を安全に使って丈夫な土台をつくる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">あかり作品の土台をつくらう。</div> <p>木や蔓を立てる、丸めるという土台の見本の中からつくりたい形を選び形づくりの見通しを持つ。</p> <p>置く、吊るす、掛ける、など飾り方も少し意識させる。</p> <p>のこぎりやグルーガンの扱い方を説明して安全に活動できるようにする。また、針金で補強し、丈夫な土台づくりができるようにする。</p>	<p><b>創造的な技能</b></p> <p>飾りたい場所、飾り方に合わせて作品の土台の形を選び、のこぎりやグルーガン、針金を正しく使って丈夫な土台をつくる。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>形が選べない。のこぎりがうまく使えず木が切れない。木がたおれてしまう。</p> <p><b>評価</b></p> <p>作品</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>飾りたい場所などを聞き、土台の形を選ばせる。のこぎりの使用方法を確認する。仲間と協力してつくる。支えになるもの（粘土など）で補強する。</p>
5	いろいろな技法で和紙に色や模様をつけ、形にとらわれないダイナミックな表現を楽しむ。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">和紙に絵の具でもようをつけよう。</div> <p>吹流し、霧吹きで吹きかける、筆を振り回して絵の具を飛び散らせる、無造作にはけでぬる、色水につける、などいろいろな方法で和紙に色をつける。</p>	<p><b>発想・構想の能力</b></p> <p>いろいろな技法で和紙に色や模様をつける表現を楽しむ。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>表現が消極的。</p> <p><b>評価</b></p> <p>作品</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>思い切って表現するようにすすめる。絵の具と水の量など道具の使い方などを確認する。</p>
6	物をつける場所によって影のでき方が違うことを理解し、それに合わせて和紙の貼り方を考え、効果的な影ができるよう工夫して貼る。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">表したい感じに合わせて和紙の貼り方を工夫しよう。</div> <p>物を和紙の内側につけるか外側につけるかで影のでき方が違うことを理解させ、自分の表したい方向を選び見通しを持たせる。</p> <p>外側から包むようにしてかぶせる、内側から貼り付ける、切って部分的に貼り付ける、しわくちゃにしたものを使う、など様々な方法から表したい技法を選んで表す。</p> <p>内側に和紙を貼る場合は、物をくっつけてから和紙を貼る。</p> <p>内側に針金をつけて吊るせるようにして表現に広がりが出るようにする。</p>	<p><b>創造的な技能</b></p> <p>和紙を内側から貼る、外側から貼る、切って部分的に貼る、切り抜いて光が漏れるようにする、など自分のイメージする影になるよう和紙の貼り方を工夫して表す。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>どのような貼り方をしているかわからない。うまく形が切れない、貼れない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>作品</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>資料コーナーでイメージに近いものを見つけさせる。形に合うように型紙をとってからそれに合わせて切らせる。洗濯バサミなど仮止めをして様子を見させる。</p>

7 ・ 8 ・ 9	どこにどのような物をくっつけるときれいな影ができるのかを考えたり試したりしながら自然物や人工物をつけていく。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>光を感じながら自然物や人工物をつけて、きれいなかげの世界をつくろう。</p> </div> <p>自然物や人工物などをつけて表したい感じに近づけていく。      明かりをつけてできる影の感じを確かめながら物をくっつけていく。      きれいで丈夫な接着でつけていく。      仲間と作品を見合いながら、よいところを取り入れたり、もっとこうするといいいということをおすすめしたりしながら、つくり進めていく。      お試しコーナーで、影の感じを確かめ、つくりかえたい所や加えたいところなどを見つける。</p>	<p><b>創造的な技能</b></p> <p>光を当ててできる影の感じを確かめながら自然物や人工物をつけて、きれいな影の世界ができるように工夫して表す。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>光や影の効果を確かめず無造作に物をつけていく。接着がうまくいかない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>作品</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>資料コーナーで物による影のでき方の違いを確かめさせてつくらせる。光を当てて、確かめながらつくらせる。      教師の師範      接着材の量の確認。      お試しコーナーの利用。      造形的な表現の価値付け。</p>
10	できた作品を見せ合い、仲間の作品のよさを見つけ、光と影の美しさを味わう。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>明かりの世界を楽しもう。</p> </div> <p>できた作品を並べて、ミニ展示会をする。お互いの作品のよいところを見つける。      校内の飾りたい場所で明かりを展示する。      学校内でライトアップしたい場所へもって行き、全員の作品を並べ、ライトアップショーをする。</p>	<p><b>鑑賞の能力</b></p> <p>仲間の作品に関心を持ち、表し方の感じの違いに気付きながらよさや美しさを見つける。      飾りたい場所に作品を置き、光のショーを楽しむ。</p>	<p><b>つまずきの様相</b></p> <p>造形的なよさなどに気付けない。</p> <p><b>評価</b></p> <p>発言・プリント</p> <p><b>指導・援助</b></p> <p>光や影の美しさや表し方の違いなどに着目させる。</p>